



弁理士としてのやりがいを語る角田さん

# 企業の知的財産を守る

企業が考案した発明の特許出願を代理で行うほか、企業の知的財産を守る」などを業務とする「信友国際特許事務所」を渋谷区で経営している。技術力があって、特許をうまく使える企業は伸びる」と豊富な経験に裏打ちされた持論を語り、3人の弁理士を含めた35人のスタッフとともに、競争力アップや飛躍を目指す企業を後押しする。

弁理士  
**角田 芳末さん(62)**  
(前橋市出身)

がんばりましょ

が、その前の30年間は主に国家多忙な生活だが、「お客さんと公務員として特許庁で特許の審査にかかわった。開発された技術が本当に今まで世の中に無い」と、役人生活にはなかつた。新たな発明に当たるのか。テレビやファクスといった電子通信分野を専門に担当した。審査のため、テレビがなぜ映るのか、どうすれば画面が美しくなるのかということまで徹底的に勉強した」と振り返る。

54歳の時、特許審査第4部長で退官した。民間事務所のトップに転じた現在は、午前4時に起床して仕事をこなすハードで輝かせる。

(千葉県松戸市)

つのだ・よしすえ 1972年特許庁に入庁。2002年に退官して弁理士に。前橋高一群馬大工学部一東北大大学院修了。